

サポートチームだより

(中札内村)「報告は地域の方から」 ～地域連携の活動報告会行われる～

〈できるところから行っていきたい〉

令和7年(2025年)2月20日(木)に中札内村文化創造センターにおいて「部活動地域移行地域連携の活動報告会」が行われ、中札内村内外から約50名が会場に集まり、今年度における中札内村での部活動地域移行に係る報告が行われました。報告会では「外部指導者の試行と検証」として、ソフトテニス部における活動協力者の方及び総合文化部活動の外部指導者の方から活動内容の説明がありました。その際、指導している映像が紹介され、生徒たちが楽しく活動している様子が紹介されました。また、「中札内村で取り組む地域移行・地域連携の新たな動き」として、バドミントン協会及びNPO法人化を目指す「中札内 ATHLETIC ACADEMY」から、活動の現状等についての報告が行われました。現時点における問題点などについて説明があり、今後の活動については「できるところから行っていきたい」と展望を述べられました。



熱心に報告を聞く参加者
(写真：中札内村提供)

加えて、部活動の在り方検討支援アドバイザー 熊耳 雅美 氏 による講演が行われ、国の動向などについて説明がありました。熊耳氏は部活動地域展開が目指す姿として「ウェルビーイングの実現」や「まちづくりの推進」をあげ、参加者に部活動地域展開に係る取組への参加を求めました。

報告会を開催した中札内村教育委員会 部活動地域移行コーディネーターの 高橋 慎 さんは「地域の方から報告をいただいていることが重要」とし、地域が主導して取組が進んでいることの意義を述べられました。

(清水町) 地域展開について議論 ～西部十勝スポーツ推進委員研修会行われる～

〈4町のスポーツ推進委員が一同に集まる〉

令和7年2月28日(金)に清水町文化センターにおいて「令和6年度西部十勝スポーツ推進委員研修会(主管町：清水町)」が行われ、新得町、鹿追町、芽室町及び清水町のスポーツ推進委員など17名が参加し行われました。研修会には十勝教育局より 主査(地学協働) 有働 雅哉 と 社会教育指導班主査 皆川 敬太 が部活動地域展開の説明とグループ討議の講師として出席しました。研修会では、有働主査より「中学校の部活動地域移行について」と題し、国や中体連の動向や十勝管内の地域クラブの状況などの説明を行い、皆川主査は「4つの窓」などの自己紹介技法を使いながら、グループ討議の進行を行いました。グループ討議では参加者は今後の取組について熱心に意見を交わしました。



真剣に説明を聞く参加者

主管町の社会教育課課長補佐 西垣 輝明 さんは「スポーツ推進委員の資質向上を図ることができた」と研修会の成果を述べられました。

【発行・お問い合わせ先】
北海道教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課 主査(地学協働)
住所：〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話：0155-26-9243
E-mail：udou.masaya@pref.hokkaido.lg.jp